

普及現地情報

発信年月日：令和2年(2020年)11月20日

所属名：湖東農産普及課

番号：F20016

部門分類：340 鳥獣害対策

発信者名：木村 須戸

サル対策先進地研修会を開催

当課は11月18日、甲賀市土山町大澤で獣害対策先進地研修会を開催しました。

湖東管内では防護柵の設置が進み、野生獣の被害は減少傾向にあります。防護柵だけでは止められないサルの被害の増加が問題化してきています。そこで今回は特にサル対策に焦点を絞った研修を企画し、サル害で悩んでいる管内の4市町と関係機関から27名が参加しました。

甲賀市の大澤集落で獣害対策アドバイザーの藤本氏より集落ぐるみで行う獣害対策についてお話を伺いました。

大澤集落は周囲を山で囲われた18戸80人の集落です。防護柵の設置によりイノシシの被害は少なくなり、被害対策はサルとシカが中心となっています。

集落では、獣害対策の方針として①防護柵の保守・点検の徹底、②サルの追い払い、③情報の収集と共有化を挙げておられました。特にサルを誘引する原因の除去と、継続した追い払いについてのお話をいただき、3戸で共同利用している京都大学式猿害防止柵の現地を見学しました。

質疑の中で、柵のコストや追い払いの手法などの話が出てきましたが、「誰かに任せるのではなく、自分から行動を起こすこと」を理念にあげておられました。研修の参加者も住民主体の対策で成果を上げている事に感銘を受け、改めて集落ぐるみの獣害対策の重要性を理解されたものと思われました。

今回参加された集落に対してフォローアップを行い、集落での話合いができるよう支援していきます。



大澤公民館で獣害対策について研修



共同利用の京都大学式猿害防止柵